



龍ヶ崎市マスコット  
キャラクター「まいりゅう」

# 地域コミュニティ NEWS

第6号 平成26年9月16日発行

回 覧

【編集・発行】

龍ヶ崎市役所 市民生活部 市民協働課  
コミュニティ推進グループ

☎0297-64-1111 内線437・438

あす  
政策情報誌「未来へ」でもお知らせしましたが、平成26年4月に「八原まちづくり協議会」設立総会が開催されました。市内で8番目の中核的な地域コミュニティの設立です。このほか、大宮地区では、平成27年度での設立に向けた活発な協議が進んでいます。

2年目を迎えた7つの地区を含め、それぞれの地域コミュニティの活動の様子をご紹介します。

## 八原まちづくり協議会



キャッチフレーズは  
「HAPPY SMILE 八原」

八原まちづくり協議会がスタートして約5か月が経過しました。協議会発足後、最初のイベントは6月22日（日）の輪投げ・ペタンク大会です。選手の皆さんは日頃の練習の成果を発揮し、和気あいあいながらも手に汗握る真剣勝負を繰り広げました。

また、7月26日（土）には八原地区では初の取り組みとして、住民自治組織の代表者・民生委員児童委員・長寿会長の顔合わせ会を開催しました。これまでお互いの活動を知る機会はほとんどありませんでしたが、今回の顔合わせ会をきっかけに、参加した皆さんは、高齢者の見守りを円滑に行うためのネットワークづくりに向け、始めの一步を踏み出しました。

## 北文間コミュニティ協議会

### 白鳥の保護に取り組んでいます！

6月15日（日）、環境委員会は、旧小貝川に生息している白鳥の親子の安全を守るため、保護用のネット張りを実施しました。当日は厳しい暑さの中、協議会委員、地元住民自治組織の代表者、市役所関係者により旧小貝川沿いの田んぼの端に杭を打ち、ネットを伸ばしながら針金などで結びつける作業を行いました。

また、定期的に白鳥の餌付けを行っており、地域の皆さんの心をなごませしてくれる白鳥を、北文間の心優しいおじさんたちが見守っています。

## 長山地域コミュニティ協議会

### 蛇沼再生プロジェクト



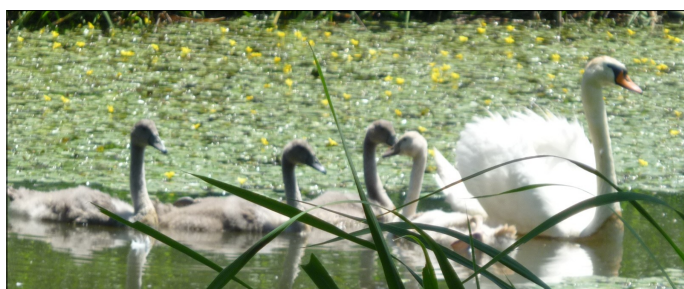
「蛇沼再生プロジェクト」は、以前の蛇沼の自然を懐かしみ、「荒廃してしまった蛇沼を少しでも昔の姿に戻したい」という思いから、平成26年度新規事業として着手しました。

今年度は主に蛇沼公園の整備を行います。9月23日（火・祝）には、蛇沼に井戸水を流している水路周辺の除草作業を行います。

今後はカブトムシやクワガタムシなどの虫捕りができるような、子どもから大人までが安心して集える公園を目指します。



＜白鳥親子を守るため、ネットを張っています。＞



＜旧小貝川を泳ぐ白鳥の親子＞

## 馴染まちづくり協議会

## 大人も子どもも、地域みんなで健康づくり

「普段は近所の公園でラジオ体操をしている方も、たまには地区全体で一緒に集まろう！」という趣旨で、「馴染地区 みんなでラジオ体操大会」を8月2日（土）と23日（土）に行いました。両日あわせて550人の皆さんが馴染小学校の校庭に集まり、健康づくりをするとともに、世代を超えた交流や地域の親睦を深めました。その後、小学生はクイズ大会で、校庭中を元気いっぱい走りました。

今回は馴染まちづくり協議会、青少年育成龍ヶ崎市民会議馴染支部、馴染小PTAの共催で行いましたが、これからも地区内のあらゆる団体がさまざまな形で連携することにより、地域のつながりを深める活動を続けていきます。



＜大勢でラジオ体操、気持ちがいいね！＞

## 龍ヶ崎西コミュニティ協議会

### RYUとぴあ音頭パレード2014「パフォーマンス賞」を受賞！

7月26日（土）、商店街大通りで行われた「RYUとぴあ音頭パレード2014」に参加しました。昨年度、入賞できなかったことを反省し、練習に励んできたことが実を結び、「パフォーマンス賞」を受賞することができました。色とりどりの衣装のダンサーと文化体育委員会の委員の皆さんも衣装を共に合わせ、裏方の方々と一体となってパレードを盛り上げていました。



＜カラフルな衣装とキレのある踊りで観客の視線を釘付け！＞

### 龍ヶ崎西小学校との合同防災訓練を開催

6月18日（水）、龍ヶ崎西コミュニティ協議会と龍ヶ崎西小学校との合同防災訓練を龍ヶ崎西小学校で行いました。今年度は「起震車」による、地震の揺れを疑似体験する訓練を実施しました。

小学生からは「起震車をもう1回体験したい」との要望も出るほど大盛況でした。

住民の参加者の皆さんも初めて起震車を体験する方が多く、「大変貴重な経験をしました」との感想が聞かれました。



＜くだいま起震車体験中！  
震度7まで体験できます。＞

## 城ノ内コミュニティ協議会

### 懐かしの流しそうめんに舌鼓！

#### （おとなと遊ぼうデー）

8月9日（土）・10日（日）、地域の大人が子どもに輪投げ・手芸・囲碁・将棋などを教えながら一緒に遊ぶ「おとなと遊ぼうデー」を開催しました。「今年はずっと楽しいことを追加しよう！」と、こども委員会で話し合った結果、流しそうめんを実施することに決定しました。



＜そうめん、うまかつかめたかな？＞

こども委員会の話し合い終了後まもなく、役員が自宅から竹を切り出し、節を取り除き、その日のうちに流しそうめんの準備が完了しました。

流しそうめん開催当日は台風の影響が心配されましたが、両日あわせて110人の皆さんが集まり、流れてきたそうめんやトマト、ゼリー、チョコレートなどを懸命に箸でつかんでいました。

室内ではドリームキャッチャーやブレスレットなどの難しい手芸、折り紙の珍しい折り方、ナンプレ、おはじき飛ばしなどを大人も子どもも一緒に挑戦しました。



## 龍ヶ崎地域コミュニティ協議会

### 防犯講習会を開催しました

防犯部会では、8月31日（日）龍ヶ崎コミュニティセンターにおいて、龍ヶ崎市消費生活相談員を招き、「あなたを狙う悪質商法と対処法」と題して講習会を行いました。当日の講習会には41人の住民の方が集まり、最近の悪質商法の手口や対処法などを熱心に受講していました。



＜寸劇で悪質商法の最新手口を学習＞

### 龍ヶ崎地域コミュニティ協議会、龍ヶ崎小学校、 龍ヶ崎市による合同防災訓練を実施します！

11月16日（日）に龍ヶ崎コミュニティセンター、龍ヶ崎小学校体育館において、三者合同の防災訓練を実施します。当日の訓練の様子は地区外の方も見学いただけますので、ぜひご来場ください。

## 川原代ふれあい協議会

### 花いっぱい運動が茨城県知事表彰を受賞！

川原代ふれあい協議会は、平成24年3月に茨城県道路里親団体に認定され、県道佐貫停車場線沿い約1kmにわたる花いっぱい運動を行っています。道路の美化活動に努めたことにより、このたび、茨城県知事より表彰状が授与されました。

茨城県道路里親制度における龍ヶ崎市の認定団体としては、同じ佐貫停車場線沿いで活動している「馴染地区花いっぱい連合会」に続く受賞となります。

8月27日（水）、受賞の報告のため市役所を訪れた木村会長と役員の方々は、今後の活動について、さらなる意気込みを中山市長に熱く語っていました。



＜中山市長に受賞の報告をする  
川原代ふれあい協議会の皆さん＞

## 会長の部屋

今回は、設立2年目を迎えた「馴染まちづくり協議会」と、まもなく設立から5か月を迎える「八原まちづくり協議会」の両会長の声をお届けします。

### 馴染まちづくり協議会

会長 山岡 唯男



### 住民のための「まち協」

馴染地区では従来から多くの団体が地域活動を行っており、その活動を尊重しながら、各団体が連携・情報交換するための場として、昨年5月に馴染まちづくり協議会が発足しました。

各委員会を中心に、さまざまな地域課題の解決に向けて話し合いをしていますが、まち協体操のように具体的な成果が出ているテーマもあれば、一層の議論が必要なテーマがあるのが現状です。

協議会があるからこそ、各団体が話し合い、協力することが可能となり、「協議会は私たち住民のために不可欠である」ことを実感しています。

今後も私たち住民自身が協議会を上手に活用し、地域のつながりを深める活動を続けていきますので、多くの方のご参加をお願いいたします。

### 八原まちづくり協議会

会長 池田 吟



### 八原まちづくり協議会が スタート！

設立準備会での10か月の協議を終え、今年4月に八原まちづくり協議会(キャッチフレーズ・HAPPY SMILE 八原)が設立されました。

発足早々にスポーツ大会の開催、続いて夏祭りの企画、準備等、慌しく5か月が経過しようとしております。

八原まちづくり協議会は、設立初年度を次世代へ向けての第一歩と位置付け、地域のニーズに対応した活動を行ってまいります。特に防犯防犯、福祉、そして地域間及び世代間の交流連携を重点課題とし、地域の皆様だれもが安心して楽しく住み続けることができるまちづくりに取り組む所存です。

最後に、八原まちづくり協議会がこれからも3,900世帯、11,000人の皆様のコミュニティの中核となり、そして、行政のパートナーとして頑張ってまいります。

## そのほかの動き

### 大宮地域コミュニティ設立準備会

大宮地域コミュニティ設立準備会（高石一男会長）は、住民自治組織（区）や防犯連絡員、交通安全協会、民生委員児童委員、長寿会、コミュニティセンター活動推進協議会、小中学校PTAなどの代表者により構成され、昨年度から引き続いて協議を進めています。

大宮地区では、これまでも小学生に付き添う形で行う登下校時における見守り活動や、地域と小学校が合同で開催する運動会など、特色ある活動に取り組んできました。また、地区内は住宅地が点在しているため、従来より隣接する複数の区からなるブロック（東部・西部・南部・北部の4ブロック）単位での活動を行っていることも大宮地区の特徴です。

大宮地区の一体感を大切に、従来からの活動を継続して行うとともに、防犯・防災や環境美化なども含めた活動を計画しています。

### 地域コミュニティに関する 意見交換会を実施しました ～ 馴馬台地区・久保台地区

馴馬台と久保台の2つの地区では、今年度に入り地域コミュニティに関する意見交換会を開催しました。意見交換会には、住民自治組織（区や自治会、町内会など）のほか、地域で活動を行っている皆さんが出席しました。

「地域でのつながりを深め、活動を活発に行うためにも地域コミュニティ設立を検討してはどうか」とする意見もある一方で、「役員の負担が増えるのではないか」「地域コミュニティが何を目指すのかが分からない」との意見もありました。今後もこのような意見交換の場を大切にしていきたいと思えます。

### ① 地域づくり補助金の制度見直しを行いました

地域づくり補助金は、住民自治組織（区や自治会、町内会など）が実施する地域づくり活動を対象として交付する補助金です。地域コミュニティが設立されていない地区内の住民自治組織が申請することができます。

これまで、平成27年度での補助額の減額と、平成28年度をもつての補助制度廃止を予定していました。（表参照）

しかし、地域コミュニティの設立に向け、今後時間をかけての協議が必要な地区もあることから、現行の制度を平成31年度まで継続することにしました。

#### 《見直し前》

平成24年度～26年度	基本額3万円＋戸数割300円×4月1日現在の戸数
平成27年度・28年度	基本額1万円＋戸数割100円×4月1日現在の戸数 （平成28年度をもって廃止）

#### 《見直し後》

平成24年度～26年度	基本額3万円＋戸数割300円×4月1日現在の戸数
平成27年度～31年度	基本額3万円＋戸数割300円×4月1日現在の戸数 （現行制度を5年継続）

### ② 住民自治組織活動推進奨励金は9月に振り込みます

「住民自治組織活動推進奨励金」は、住民自治組織（区や自治会、町内会など）の活動の振興を図ることを目的にお支払いするものです。支給額は、「市や関係機関が発行する文書を配布する戸数×1,000円（年額）」となっています。この奨励金は各住民自治組織の活動資金としてご活用いただいています。

平成25年度までは年2回（9月・3月）に分けて「戸数×500円」の支給でしたが、平成26年度からは「4月1日現在の戸数×1,000円」の、年1回の支給となります。今年度は9月26日（金）に各住民自治組織指定の金融機関口座へ振り込む予定です。